

市長 コラム

column No.173

コロナ禍での イベント再開

文 | 笠間市長 山口伸樹

写真/県のガイドラインによる感染症対策をして行われたイベント
(笠間特別観光大使 安達勇人 野外ライブ)



市内では、市や地域の活性化につながる魅力あるイベントや祭り等が年間を通して開催され、多くの方に楽しんでいただいています。

しかし今年は、これまでに新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、陶炎祭の延期、つづじまつり、そして各地区の夏まつり等が中止となりました。

そこで市では、経済を動かし地域の活性化を進めていくために、コロナウイルスが収束していない中ではありますが、9月以降の市が関わるイベント等については、再開をさせていくことで調整をしています。

毎年9月から11月末にかけて市内で開催される、笠間浪漫、かさま新栗まつり、笠間の菊まつりなど様々なイベント等があります。もちろん新しい生活スタイルでの感染症防止策を最大限に取り入れ、出店者およびお客様の安全第一のもと進めてまいります。

開催にあたっては、内容、人数、参加方法等、今までとは違った形での開催となることや、感染状況により中止となる場合もありますので、ご理解いただきたいと思います。

また、国においては予算や特例によりイベント等の支援を充実しています。

市としては、コロナウイルスと共生する中で、笠間式イベントを構築していきます。皆様から良きアドバイスを願います。

今月の ピックアップ

レジ袋 有料化がスタート



7月1日(水)、全国の小売店においてレジ袋(プラスチック製買物袋)の有料化がスタートしました。

プラスチックの過剰な使用を抑制することを目的に有料化となったもので、プラスチック製品は、とても便利であらゆるものに使われている一方で、資源の枯渇や海洋ごみ問題、地球温暖化などの多くの課題を抱えています。マイバッグを持参するなど、私たちのライフスタイルも見直していきましょう! ※市では、昨年度よりワンウェイ(使い捨て)プラスチックの削減に向けた取り組みを推進しています。

また同日、市役所では環境負荷ゼロへの挑戦として、プラスチックごみゼロ宣言を行いました。



マイバックに商品を入れる買い物客